

DLC-KC400S, DLC-CH-KC

火災感知器チェンジャー 取扱説明書

このたびは、「火災感知器チェンジャー」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
 ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みにになり指示に従って正しく使用してください。
 お読みになった取扱説明書はお使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。

特長

- これ1つでほとんどの火災感知器が交換可能
- 脚立や踏み台を使わずに火災感知器の交換ができる
- アルミ製ポールで軽く、操作しやすい。取り回しの楽なショートタイプで、伸ばした時の剛性アップ(DLC-KC400S)

安全上の注意

⚠ 危険 この表示は「誤った取扱いをすると人が死亡、又は重傷を負う危険性が非常に差し迫って生じる可能性がある」内容を示します。

- 高圧電線が近くにある場所で使用しないでください。感電や重大な事故の原因になる恐れがあります。



⚠ 警告 この表示は「誤った取扱いをすると人が死亡、又は重傷を負う可能性がある」内容を示します。

- ヘルメット、保護メガネ、手袋を着用して作業してください。不意の落下物等で怪我をする恐れがあります。
- ポールは垂直に立てて使用し、伸ばした状態で横倒しにしないでください。
- 火災感知器の着脱作業後、必ず火災感知器が正常に動作するか確認してください。

⚠ 注意 この表示は「誤った取扱いをすると人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性がある」内容を示します。

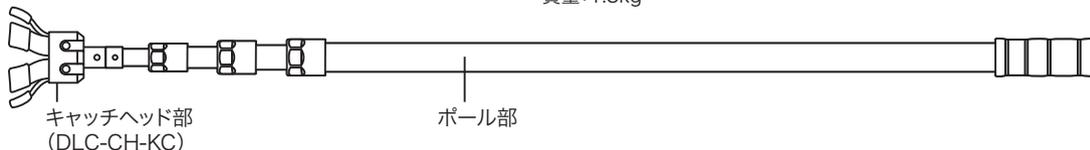
- ご使用前に部品のゆがみがないか、破損箇所はないか等の始業前点検をして安全確認後にご使用ください。
- ポールの継手は、必要以上に締めすぎないでください。強く締めすぎると緩まなくなり、ロック機構を破損する恐れがあります。
- ポールを縮める時は、継手を少し緩め、スライド抵抗のある状態でポールを引き下げてください。継手を緩め過ぎると解放状態になり、ポールが急激に落下して指を詰めるなど怪我をする恐れがあります。
- ポール伸長時は転倒による破損防止のため、取扱いには十分ご注意ください。
- 清掃時は軽く湿った布巾で拭いてください。絶対にシンナーなどの溶剤を使用しないでください。溶剤による界面破壊を誘発しますので注意してください。また、シンナーなどの溶剤雰囲気中に長期保存しないでください。同様の界面破壊の危険性があります。

⚠ 使用上の注意

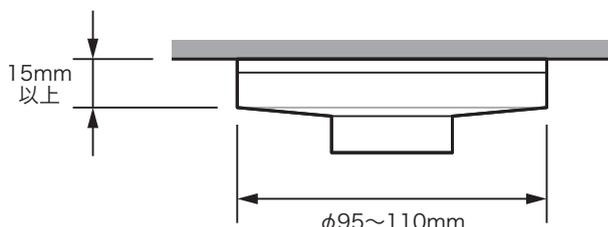
- 消防設備の定期点検業務は、その法令が定める有資格者が行ってください。
- 火災感知器の取扱説明書も併せてお読みにになり、指示に従って正しく使用してください。
- 適合する寸法の感知器であっても、構造や状態により取り外しと取り付けができない場合があります。
- 使用場所によってポールが長すぎて余る場合は、必要な段数だけを使用してください。
- 気温が-10℃以下の環境では使用しないでください。
- 保管に際しては、直射日光のあたる場所や高温の場所を避けてください。

製品仕様 (DLC-KC400S)

全長(伸):約4m 段数:4段
 全長(縮):約1.4m ポール最大径:φ55mm
 質量:1.3kg



適合サイズ



- 適合火災感知器サイズ:φ95~110mm(径)、高さ15mm以上
- 最大広がり巾:φ125~140mm

⚠ 埋め込み型や薄型設計の火災感知器は適合しません。
 適合する寸法の火災感知器であっても、構造や状態により取り外し、取り付けができない場合があります。

使用方法

⚠️ ご使用の前に 不意の落下物等で怪我をする恐れがあります。作業中はヘルメット、保護メガネ、手袋を着用してください。

1. キャッチヘッド部(DLC-CH-KC)のポールへの取り付け、取り外し

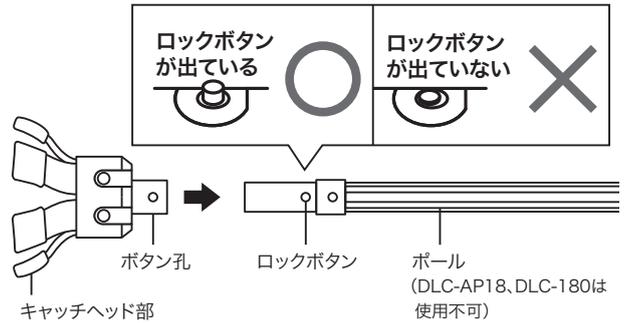
取り付ける時

ポールのロックボタンを押し、キャッチヘッド部の穴位置を合わせて挿入すると、ロックボタンが出てロックされます。(右図参照)

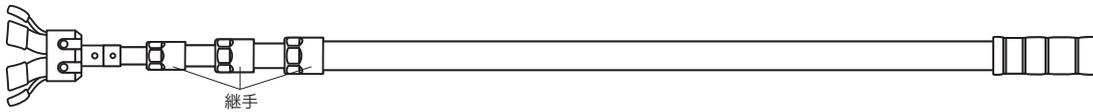
取り外す時

ロックボタンを先の細い棒などで押し込み、キャッチヘッド部を引っ張ると外れます。

⚠️ ロックボタンが出ていることを確認し、キャッチヘッド部を引っ張ってもアルミポールから抜けないことを確認してください。キャッチヘッド部が落下する恐れがあります。



2. ポールの伸縮(DLC-KC400S)



継手をまわすことで固定と解除が簡単にできます。(右図参照)
伸縮は継手をまわし、ポールを解除・固定しておこないます。
緩める時は継手の上側のポールを持ってください。

●ポールを伸ばす

ポールを床面に立てて、上段のポールから順次必要な長さまで伸ばしてください。



ポールの継手は軽く締めてください。必要以上に締めすぎると、ロック機構を破損する恐れがあります。

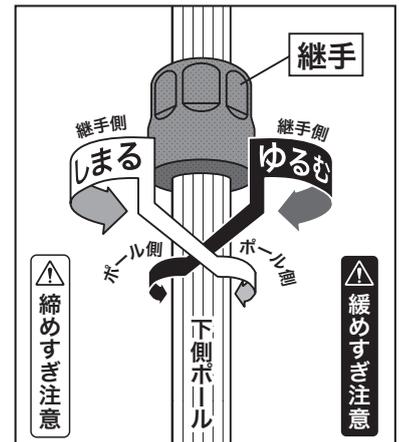


●ポールを縮める

ポールを床面に立てて、下段のポールから順次縮めてください。



ポールを縮める時は、継手を少し緩め、スライド抵抗のある状態でポールを引き下げてください。
継手を緩め過ぎると解放状態になり、ポールが急激に落下して指を詰めるなど怪我をする恐れがあります。



※1.8mタイプポール(DLC-AP18, DLC-180)は使用できません。

3. 火災感知器の取り外し、取り付け

① 火災感知器を取り外す

右図のように火災感知器(以下感知器)と火災感知器チェンジャー(以下チェンジャー)が同一軸上になるようにして、軽く押しながら感知器を外す方向(左回転が一般的)へポールを回すと感知器はベースから外れます。

※ポールを立てた状態でポールを縮めてから、感知器をチェンジャーから取ってください。

※ポールを斜めにしたり、倒したりすると感知器が落下する原因になります。

② 新しい火災感知器を取り付ける

右図のように新しい感知器をチェンジャーと同一軸上になるように載せ、ポールを立てた状態で感知器のベースに届くようにポールを伸ばして、チェンジャー、感知器、ベースが同一軸上になるようにして、軽く押しながらねじ込みます。

※ポールを斜めにしたり、倒したりすると感知器が落下する原因になります。

